

SURUGA bank Hello Book 2010

ミニディスクロージャー誌

第200期営業の中間ご報告

平成22年4月1日～平成22年9月30日

ごあいさつ

当社の概要 平成22年10月1日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	127	
	静岡県内	78	神奈川県内 36
	東京都内	5	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	京都府内 1
	福岡県内	1	
資本金	30,043百万円		

目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
株式についてのご案内	16
トピックス	17
CSR 社会・地域とのつながり	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

表紙写真

photographer: 大山行男 / Yukio Ohyama

写真家。1952年神奈川県小田原市生まれ。
『富士山』(グラフィック社)、『初めての富士山』(小学館)、
『富士』『樹海-富士』(ともに毎日新聞社)など著書多数。
2010年日本写真協会賞作家賞を受賞。



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに当社第200期中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、期初、輸出や生産を中心に改善傾向を示したものの、後半は、欧州の債務問題、米国経済の回復の遅れなどを要因とした円高進行の影響から、輸出や生産の増加ペースが鈍化し、緩やかな回復過程をたどりました。雇用・所得環境につきましても、一時期に比べ幾分和らいではいるものの、引き続き厳しい状況にあり、本格的な消費回復は足踏み状態となっております。そうした中、日本銀行は「景気については改善の動きに一服感がみられる」と判断し、包括的な金融緩和策を発表いたしました。政府の追加経済対策と相まって、急激な円高、長引くデフレ脱却のための布石となることが期待されております。

【業界動向】

各金融機関におきましては、企業の資金ニーズや個人のライフスタイルの変化などを背景に、業態や地域を越えた競争がより一層激化しております。一方、6月から施行された改正貸金業法にみられるように、多重債務問題への対応は、貸し手としての社会的責任を果たしていくことが強く求められております。また、地域社会における信用創造機能の役割を担うため、経営の安定度を高めるための資本の充実や、収益性を高めるための経営戦略の充実も求められております。

【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期につきましては、各金融機関の住宅ローン獲得競争が熾烈となる中においても、当社のコアビジネスである個人ローンの残高は着実に増加し、円貨預貸金利益は引き続き過去最高益を更新することができました。好調な企業業績の利益還元の一環として、中間配当金につきましては、当初予定通り一株当たり6円50銭といたしました。

【当期中の取り組み】

新しい取り組みとして、平成20年5月より開始した、3大都市圏におけるゆうちょ銀行直営店50店舗での当社個人ローン商品のご提供を、平成22年5月より、新たに全国の主要都市を含む32店舗においてもご提供することといたしました。これにより、代理店は計82店舗となり、さらに広い地域で、より身近にお客さまの夢の実現をお手伝いさせていただけるようになりました。

従前より、当社では環境活動に対する活動を「SURUGA ECO ACTION」(スルガ エコ アクション)と銘打ち、環境関連金融商品の取扱い、社会貢献活動の実施、エコオフィス化の推進、環境に関する啓蒙活動といった4つの分野に分け、積極的に取り組んでおります。その一環として、地球環境に配慮した「エコ店舗」第1号の修善寺支店に続き、平成22年7月に、第2号となる、熱海支店をリニューアル・オープンいたしました。屋上緑化の実施やエコガラスの採用、自動調光されたLED照明の採用、人感センサーによるトイレ照明の自動制御など、より一層環境に優しい店舗を実現いたしました結果、静岡県建築物環境配慮制度(CASBEE静岡)において静岡県内の金融機関としては初めてAランクを取得することができました。これを励みに、今後もこれまで以上に環境やお客さまに優しい、気配りが感じられる店舗づくりを目指してまいります。

新商品・サービスにつきましては、平成22年4月、お客さまのお金に対するご心配事、ご不安事などをお聞きし、お一人おひとりに最適なマネープランのアドバイスをするサービス、「スルガ・

マネークリニック」を開始いたしました。専用フリーダイヤルを設け、専門スタッフがお客さまの暮らしをより彩り豊かなものにするために、お手伝いしております。

また、平成11年に邦銀初のインターネット支店として開設した「ドリームダイレクト支店」の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れをされたお客さまの中から、平成21年12月の年末ジャンボ宝くじに続き、平成22年のサマージャンボ宝くじにおいても、9人目となる億万長者が誕生いたしました。これからも引き続き多くのお客さまに“ジャンボ”な夢をお届けしてまいります。

営業店舗につきましては、当期末の店舗数は13店舗のインターネット支店を含め127か店となっております。また、当社の基幹事業の一つである住宅ローン等のご相談窓口「ドリームプラザ」につきましては、当期末24か所で営業しております。

当社は平成22年10月19日をもちまして、明治28年の創立より、115周年を迎えることができました。これもひとえに、これまでいただいた皆さま方のご支援の賜物であると、心より厚く御礼申し上げます。

今後も当社は、新たな分野への積極的な取り組みにより、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供し、「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュ」として、お客さまの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いができるパートナー、そして身近で頼りがいのある「オンリーワン」の存在となるべく、社員一丸となって努力してまいります。

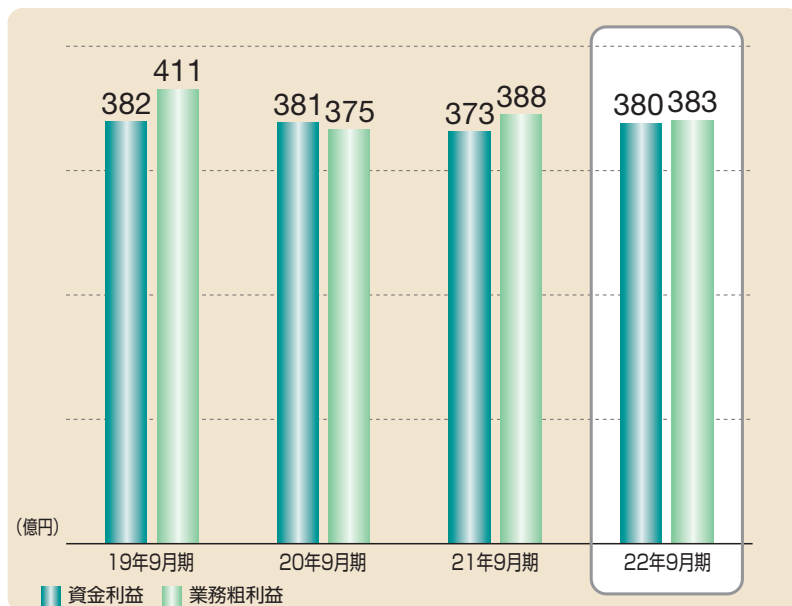
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

社長 岡野光喜

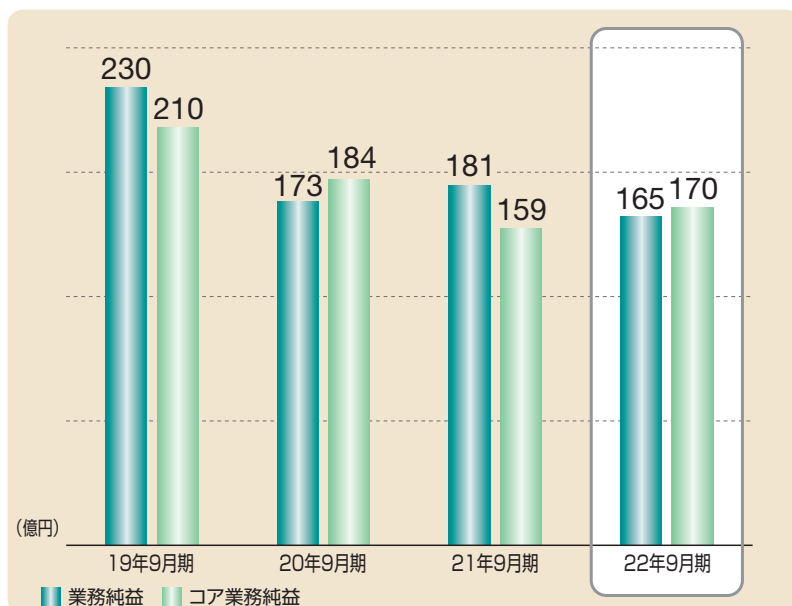
営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。



■ 資金利益／業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。収益性の高い個人ローンが引き続き順調に増加したことなどにより、資金利益は前年同期比6億円増加しました。



■ 業務純益／コア業務純益

当社のコアビジネスである個人ローン残高は順調に増加し、役務取引等利益も改善したことなどにより、コア業務純益は前年同期比10億円増加しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

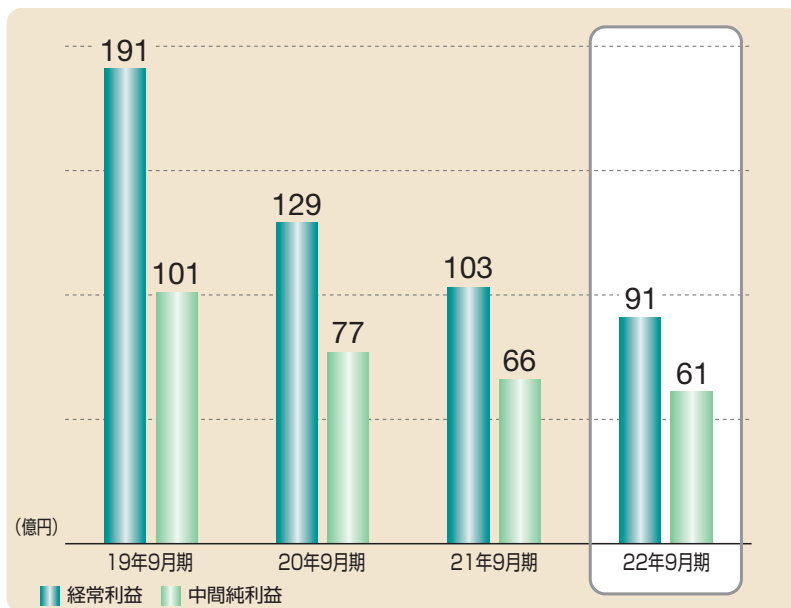
コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券関係損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益

＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

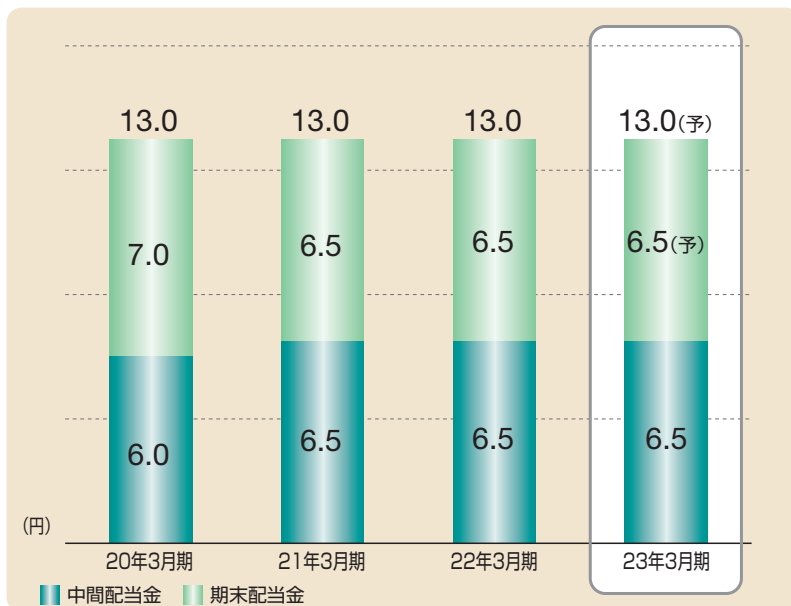
＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）－国債等債券損益（5勘定戻）



■ 経常利益／中間純利益

経常利益は、不良債権処理額が減少したものの、株式市場の低迷を受け、保有有価証券の一部について、減損処理による損失計上を行ったことや、一般貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、前年同期比11億円の減少となりました。

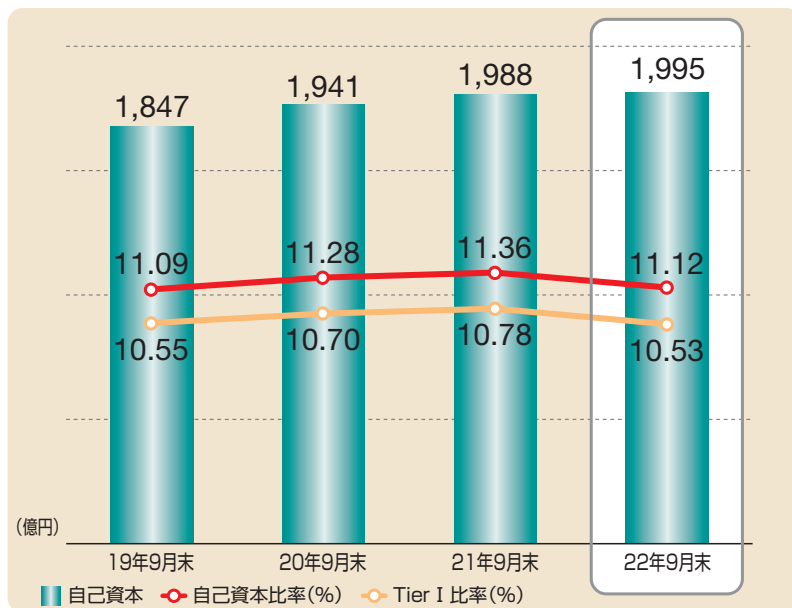
中間純利益は、前年同期比4億円の減少となりました。



■ 一株当たり年間配当金

経済環境が緩やかに回復しつつある中、個人ローンビジネス等が引き続き堅調に推移していることなどから、中間配当金は、当初予定通り一株当たり6円50銭とさせていただきます。一株当たり年間配当金は13円を予定しております。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。



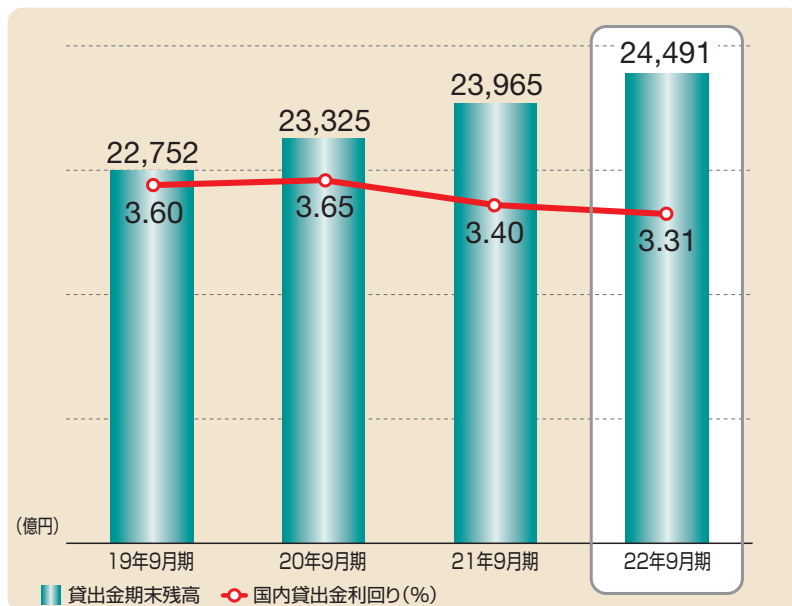
■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率は、貸出金の増加等に伴うリスクアセットの増加などにより、前年同期末比0.24%低下し、11.12%となりましたが、引き続き高水準を維持しております。

自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目(Tier I)と一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier II)により構成されております。

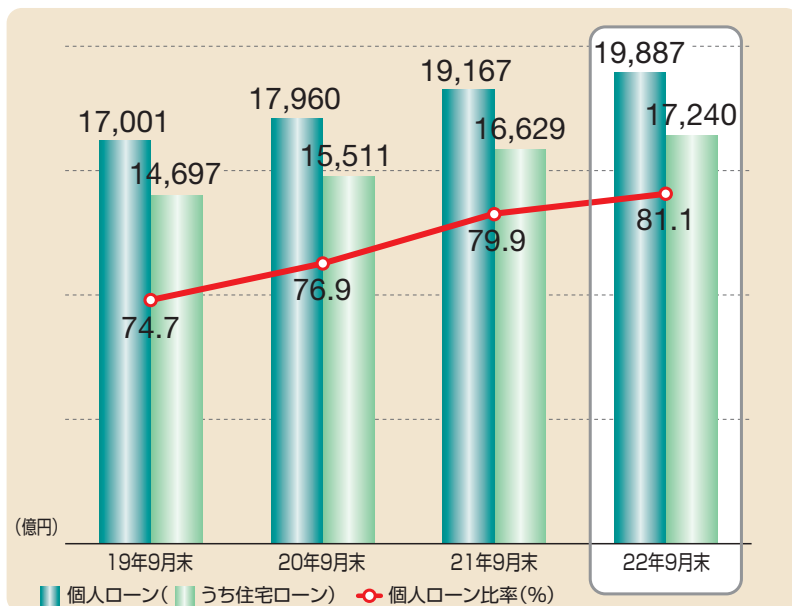
当社の補完的項目(Tier II)は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率
 = 自己資本額(基本的項目+補完的項目-控除項目) / リスクアセット × 100
 Tier I 比率
 = 自己資本額(基本的項目: Tier I) / リスクアセット × 100



■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

貸出金期末残高は、個人ローンの順調な増加により、前年同期末比526億円増加の2兆4,491億円となりました。また、国内貸出金利回りは、政策金利引下げの影響を前年同期中より織り込んだことから、前年同期比0.09%低下し、3.31%となりました。

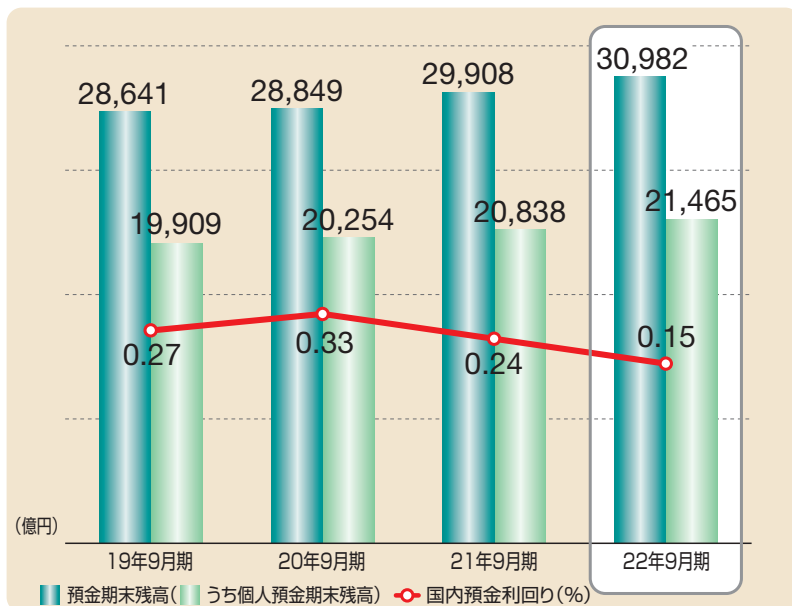


個人ローンの推移

個人ローン残高は、政府の経済対策等を背景とした住宅購入マインドの高まりなど、回復の兆しが表れつつあるものの、市場環境が依然として厳しく、前年同期末比719億円増加の、1兆9,887億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年同期末比611億円増加の1兆7,240億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は81.1%となりました。



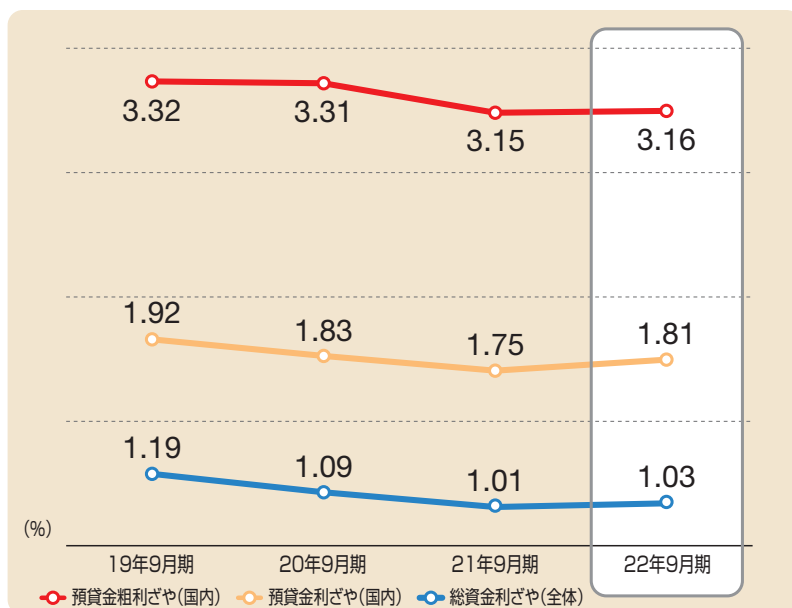
預金期末残高／国内預金利回り

預金期末残高は、個人預金の増加を主因に前年同期末比1,074億円増加し、3兆982億円となりました。

個人預金期末残高は、前年同期末比626億円増加し、2兆1,465億円となりました。

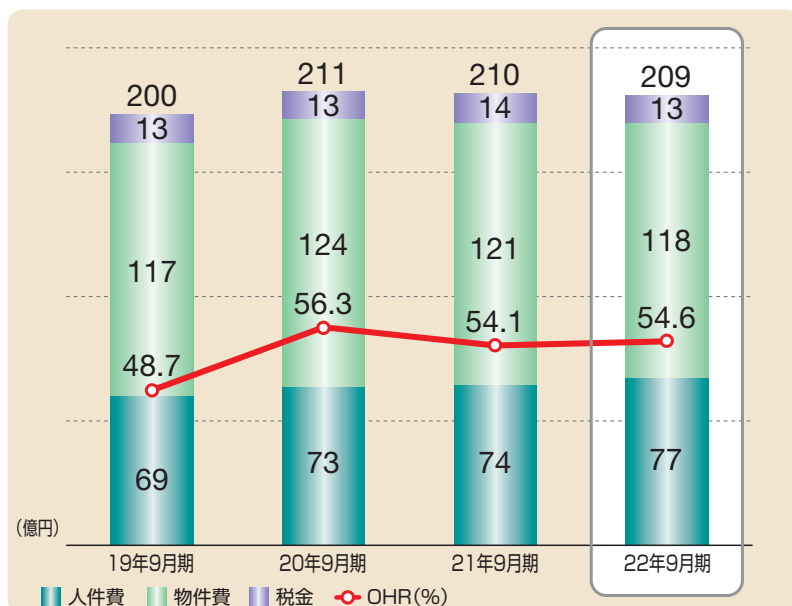
国内預金利回りは、前年同期比0.09%低下し、0.15%となりました。

営業の概況



■ 預貸金粗利ざや(国内) / 預貸金利ざや(国内) / 総資金利ざや(全体)

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りから預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。預貸金利ざや(国内)は、預金利回りや経費率の低下が寄与し、前年同期比0.06%拡大となり、引き続き高い収益性を維持しております。

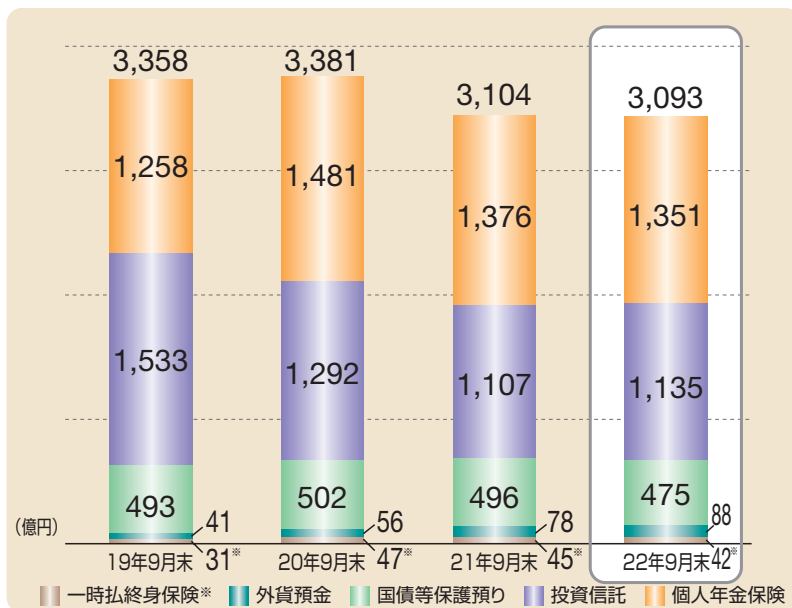


■ 経費 / OHR

経費は、採算性を重視し、見直しを進めた結果、前年同期比67百万円減少の209億円となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR（オーバーヘッドレシオ）は、54.6%となりました。

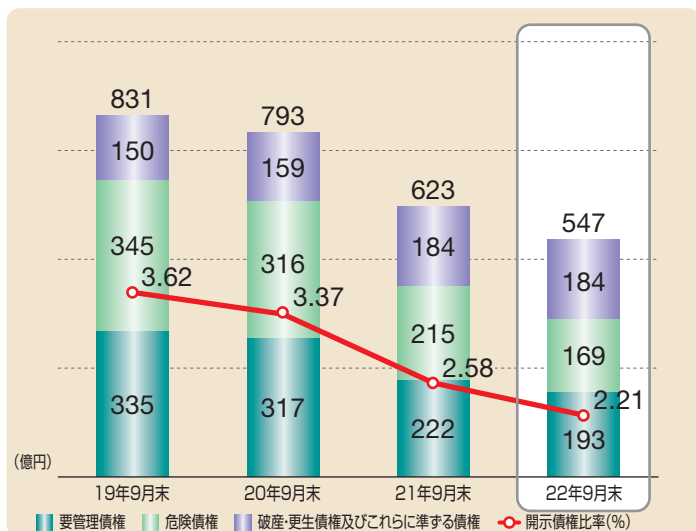
OHR（オーバーヘッドレシオ (%)）= 経費 / 業務粗利益 × 100



■ 個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、投資信託が増加したものの、お客さまのリスク回避志向を受けた個人年金保険を中心に、前年同期末比10億円の減少となりました。

不良債権の状況



■ 金融再生法開示債権残高・比率の推移

厳しい経済環境が続く中、より一層の資産の健全化を図るため、お取引先の事業再生ならびに経営改善支援の取り組みや最終処理の着実な実施により、開示債権額は前年同期末比75億円減少し、547億円となりました。

総与信額に対する開示債権比率は、前年同期末比0.37%低下し、2.21%となりました。

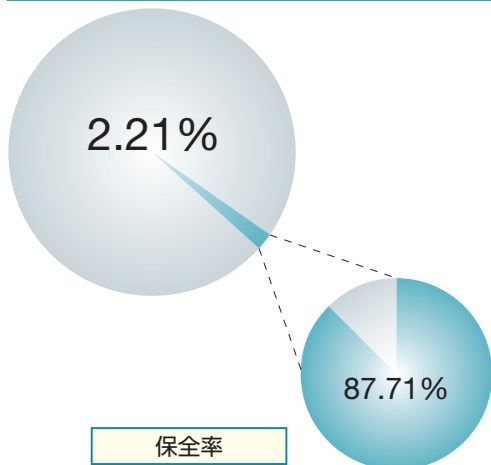
開示債権比率(%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債

総与信残高に占める比率

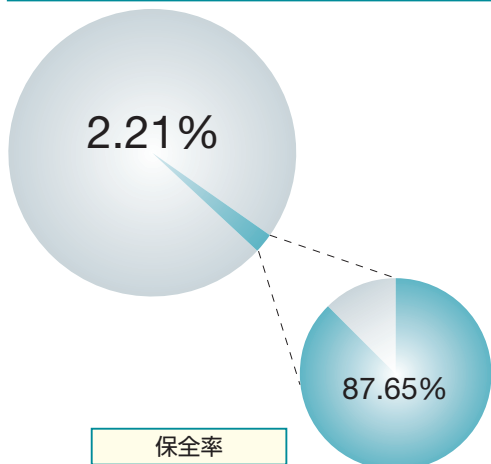


		担保・保証	引当額	保全率
破産・更生債権及びこれらに準ずる債権	184億円	123億円	61億円	100.00%
危険債権	169億円	140億円	20億円	95.48%
要管理債権	193億円	117億円	16億円	69.17%
小計	547億円	381億円	98億円	87.71%
正常債権	2兆4,124億円			
合計	2兆4,671億円			

リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	26億円
延滞債権	322億円
3ヶ月以上延滞債権	8億円
貸出条件緩和債権	185億円
合計	543億円

貸出金残高(未残) 2兆4,491億円

自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

破綻先	27億円
実質破綻先	157億円
破綻懸念先	169億円
要注意先	
要管理先	297億円
要管理先以外の要注意先	2,563億円
正常先	2兆1,448億円
合計	2兆4,663億円

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

財務情報

中間連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	45,217
コールローン及び買入手形	326,431
商品有価証券	3
金銭の信託	1,362
有価証券	401,302
貸出金	2,445,968
外国為替	11,992
リース債権及びリース投資資産	6,651
その他資産	41,369
有形固定資産	34,930
無形固定資産	5,157
繰延税金資産	23,226
支払承諾見返	4,422
貸倒引当金	△27,594
資産の部合計	3,320,440

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,096,213
借入金	3,739
外国為替	11
その他負債	19,491
賞与引当金	653
退職給付引当金	150
役員退職慰労引当金	2,541
睡眠預金払戻損失引当金	270
偶発損失引当金	170
支払承諾	4,422
負債の部合計	3,127,664
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	19,501
利益剰余金	154,220
自己株式	△12,132
株主資本合計	191,632
その他有価証券評価差額金	△566
繰延ヘッジ損益	29
評価・換算差額等合計	△537
新株予約権	637
少数株主持分	1,043
純資産の部合計	192,776
負債及び純資産の部合計	3,320,440

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	51,460
資金運用収益	41,923
貸出金利息	40,517
有価証券利息配当金	1,093
役務取引等収益	6,244
その他業務収益	2,974
その他経常収益	318
経常費用	41,833
資金調達費用	2,389
預金利息	2,303
役務取引等費用	5,713
その他業務費用	2,164
営業経費	21,753
その他経常費用	9,813
経常利益	9,626

科目	金額
特別利益	1,521
固定資産処分益	4
償却債権取立益	1,514
その他の特別利益	2
特別損失	162
固定資産処分損	162
税金等調整前中間純利益	10,986
法人税、住民税及び事業税	5,478
法人税等調整額	△855
法人税等合計	4,623
少数株主損益調整前中間純利益	6,362
少数株主利益	33
中間純利益	6,329

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	30,043
資本剰余金	
前期末残高	19,501
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	19,501
利益剰余金	
前期末残高	149,514
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,329
自己株式の処分	△20
当中間期変動額合計	4,706
当中間期末残高	154,220
自己株式	
前期末残高	△9,486
当中間期変動額	
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	112
当中間期変動額合計	△2,646
当中間期末残高	△12,132
株主資本合計	
前期末残高	189,572
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,329
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	91
当中間期変動額合計	2,060
当中間期末残高	191,632

科目	金額
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	1,914
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,480
当中間期変動額合計	△2,480
当中間期末残高	△566
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	1
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	27
当中間期変動額合計	27
当中間期末残高	29
評価・換算差額等合計	
前期末残高	1,915
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,453
当中間期変動額合計	△2,453
当中間期末残高	△537
新株予約権	
前期末残高	573
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	63
当中間期変動額合計	63
当中間期末残高	637
少数株主持分	
前期末残高	1,028
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	14
当中間期変動額合計	14
当中間期末残高	1,043
純資産合計	
前期末残高	193,090
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,329
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	91
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,374
当中間期変動額合計	△314
当中間期末残高	192,776

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表(平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	45,133	預金	3,098,297
コールローン	326,431	外国為替	11
商品有価証券	3	その他負債	15,490
金銭の信託	1,362	未払法人税等	5,420
有価証券	401,244	リース債務	353
貸出金	2,449,186	その他の負債	9,715
外国為替	11,992	賞与引当金	611
その他資産	34,032	役員退職慰労引当金	2,531
有形固定資産	34,635	睡眠預金払戻損失引当金	270
無形固定資産	5,066	偶発損失引当金	170
繰延税金資産	22,369	支払承諾	4,428
支払承諾見返	4,428	負債の部合計	3,121,812
貸倒引当金	△23,899	(純資産の部)	
		資本金	30,043
		資本剰余金	18,585
		利益剰余金	153,607
		利益準備金	30,043
		その他利益剰余金	123,563
		自己株式	△12,132
		株主資本合計	190,103
		その他有価証券評価差額金	△599
		繰延ヘッジ損益	33
		評価・換算差額等合計	△565
		新株予約権	637
		純資産の部合計	190,174
資産の部合計	3,311,986	負債及び純資産の部合計	3,311,986

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

科 目	金 額
経常収益	47,224
資金運用収益	40,388
貸出金利息	38,988
有価証券利息配当金	1,083
役務取引等収益	5,932
その他業務収益	594
その他経常収益	309
経常費用	38,077
資金調達費用	2,363
預金利息	2,303
役務取引等費用	6,004
その他業務費用	214
営業経費	21,054
その他経常費用	8,441
経常利益	9,146

(単位：百万円)

科 目	金 額
特別利益	1,515
特別損失	161
税引前中間純利益	10,500
法人税、住民税及び事業税	5,163
法人税等調整額	△853
法人税等合計	4,310
中間純利益	6,190

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	30,043
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	18,585
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	18,585
その他資本剰余金	
前期末残高	—
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	—
資本剰余金合計	
前期末残高	18,585
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	18,585
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	30,043
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	30,043
その他利益剰余金	
別途積立金	
前期末残高	103,032
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	103,032

科目	金額
繰越利益剰余金	
前期末残高	15,964
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,190
自己株式の処分	△20
当中間期変動額合計	4,566
当中間期末残高	20,531
利益剰余金合計	
前期末残高	149,040
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,190
自己株式の処分	△20
当中間期変動額合計	4,566
当中間期末残高	153,607
自己株式	
前期末残高	△9,486
当中間期変動額	
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	112
当中間期変動額合計	△2,646
当中間期末残高	△12,132
株主資本合計	
前期末残高	188,183
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,190
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	91
当中間期変動額合計	1,920
当中間期末残高	190,103

科目	金額
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	1,834
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△2,433
当中間期変動額合計	△2,433
当中間期末残高	△599
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	5
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	28
当中間期変動額合計	28
当中間期末残高	33
評価・換算差額等合計	
前期末残高	1,839
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△2,404
当中間期変動額合計	△2,404
当中間期末残高	△565
新株予約権	
前期末残高	573
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	63
当中間期変動額合計	63
当中間期末残高	637
純資産合計	
前期末残高	190,595
当中間期変動額	
剰余金の配当	△1,602
中間純利益	6,190
自己株式の取得	△2,758
自己株式の処分	91
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△2,341
当中間期変動額合計	△420
当中間期末残高	190,174

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当)

9月30日(中間配当)

そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。なお、銀行法第20条6項の規定による決算公告につきましては、当社ホームページの会社情報・IR情報欄の[決算公告]欄に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

同連絡先

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ お知らせ

(1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(2) 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(3) 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせ下さい。

(4) 単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(5) 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて

特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

トピックス

お金に関するアドバイスサービス

「スルガ・マネークリニック」を開始

お客さまのお金に関するご心配事、ご不安事などをお聞きし、お一人おひとりに最適なマネープランのアドバイスをするサービス「スルガ・マネークリニック」を開始いたしました。

平成22年4月26日の受付開始以来、さまざまなお声をいただいております。

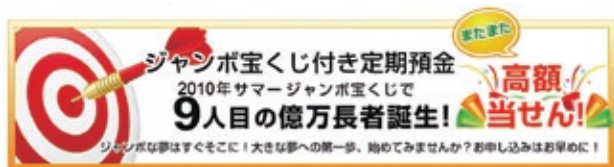
- ご相談はお気軽にこちらまで
☎ 0120-718-239
月～金曜日（祝日を除く）
9:00～17:00



「ジャンボ宝くじ付き定期預金」9人目の億万長者誕生！

「ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお預け入れをされたお客さまの中から、平成22年サマージャンボ宝くじで高額当せん者が誕生いたしました。今回で9人目の「億万長者」誕生となります。

本商品は平成11年から邦銀初のインターネット支店「ドリームダイレクト支店」でお取扱いを開始し、現在は同店の他、3店舗（ANA支店、OCN支店、ソネット支店）でお取扱いしております。



- 詳細は当社インターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

自己株式の取得について

平成21年10月1日から平成22年6月23日までに自己株式を9,820千株取得いたしました。また、平成22年7月21日開催の取締役会において自己株式取得を決議し、7月22日から10月29日までに3,998千株をさらに取得いたしました。

今後も資本効率の向上を通じ、株主の皆さまへの利益還元を図ってまいります。

ダイレクト投資信託 お申し込み手数料を完全無料化

インターネットバンキング／テレフォンバンキングでお取引いただける「ダイレクト投資信託」において平成22年10月1日より、邦銀で初めて、すべての取扱ファンドのお申し込み手数料を無料（ノーロード）といたしました。

※ダイレクト投資信託はインターネットおよび電話で投資信託をお好きなときにお申し込みできるサービスです。



●アクセスセンター投信デスク

☎ 0120-86-1449 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00

中国民元 外貨両替サービス お取扱い開始

平成22年9月6日より、中国民元のご両替ニーズにお応えするため、本店営業部、箱根支店、熱海支店の3店舗にて「中国民元」の外貨両替サービスを開始いたしました。

これにより、円から中国民元へのご両替、中国民元から円へのご両替を上記店舗にてご利用いただけます。

●国際業務センター

☎ 0120-882-515 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00
（上記☎がご利用いただけない場合 055-987-7270）

成長基盤強化融資 お取扱い開始

成長基盤に関する分野への支援を強化し、より一層地域産業活性化に貢献するため、医療・福祉、観光および都市開発、住宅関連事業に関する「成長基盤強化融資」のお取扱いを平成22年10月1日より開始いたしました。

〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝い

創立115周年を迎えたスルガ銀行は、これからも、皆さまの夢をサポートしてまいります

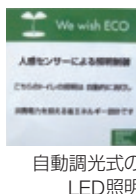
わたしたちの未来のために SURUGA ECO ACTION に取り組んでいます

エコ店舗「熱海支店」

静岡県内金融機関初 静岡県建築物環境配慮制度 Aランク取得

平成22年7月23日、熱海支店は環境や景観に配慮したエコ店舗2号店としてグランドオープンいたしました。

同店は屋上緑化の実施や光センサーによる自動調光が可能なLED照明の採用など、より一層環境に優しい店舗となっております。また、静岡県の建築物環境配慮制度（CASBEE静岡）にて県内金融機関初となるAランクを取得いたしました。



自動調光式のLED照明



屋上緑化スペースを設置

「富士山3776自然林復元大作戦」への参加

静岡県主催の本活動に参加し、鹿の食害対策等、富士山の森の再生活動を行っております。当社は「ふじさんネットワーク」の正会員として、富士山周辺の環境保全に努めております。



「SURUGA ECO ACTION」とは

環境活動に対する当社の宣言であり、環境活動を4つの分野に分け、それぞれに取り組んでおります。



● 詳細はこちら

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/corporate/ecoaction/>

環境関連金融商品の取扱い

社会貢献活動の実施

エコオフィス化の推進

環境に関する啓蒙活動

サッカーの夢をかたちに

静岡県内の各年代別に開催している「スルガカップ」をはじめ、プロアマの日本一を決する「天皇杯」、日本王者と南米王者が戦う「スルガ銀行チャンピオンシップ」等に協賛し、サッカーに関わるあらゆる人々の「夢」を応援しております。



スルガカップ静岡県コース (U-15) サッカー選手権大会



「第90回天皇杯全日本サッカー大会」特別協賛 記者会見の様子



スルガ銀行チャンピオンシップ 2010 TOKYO

d-labo(夢研究所)で夢について考えてみませんか

東京ミッドタウン（六本木）内にある、「夢」を軸にさまざまなセミナーやイベントを開催しているd-labo。ここではその一部をご紹介します。

平成22年10月14日開催
講師：徳大寺 有恒氏
「ヒトとクルマ～この100年はまさに自動車の時代だった～」



d-labo (夢研究所)とは

d-laboでは「お客さまの夢から未来を創る」をテーマに、皆さまの「夢見る力」「夢探し」をサポートしております。

● 詳細はこちら <http://www.d-labo-midtown.com/index.php>



CSR 社会・地域とのつながり

当社は社会の一員として役割や責任を認識し、お客さま、株主さま、地域社会など各ステークホルダーのご期待に応え、継続的に社会的責任を果たしてまいります。

静岡県内大学生・海外大学生インターンシップ開催

平成18年から日本大学国際関係学部および静岡県立大学の学生を対象にインターンシップを開催しております。

今年も5名の学生が、2週間、本部や営業店等で銀行業務を学びました。

また、今年度より異文化交流を通じてビジネスの国際化を推進するため、海外大学生を対象としたプログラムも開催いたしました。



静岡県立大学地域経営研究センターに寄付

静岡県立大学地域経営研究センターに寄付を行っております。

寄付金は同センターが企画するセミナーや県内地域医療体制の研究費、遠隔講義システムの実験費等に充てられます。

この活動は平成13年より実施しており、今回で10回目となります。



企業経営研究所 国際交流支援事業助成金を交付

本事業は静岡県内の各学校等で教育指導に従事しており、海外で技術・技能・知識等を習得・研究し、子供たちに夢や感動を与え、分かち合うことを志す方を対象に、毎年実施しております。

本年度で延べ34名の方々に助成金を交付いたしました。



24時間テレビ「愛は地球を救う」への協賛

平成6年より日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」へボランティア協賛しております。

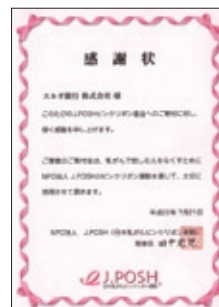
今年も8月29日に静岡県駿東郡清水町のサントムーン柿田川にて、社内公募によるボランティア約30名が街頭募金活動を行い、大変多くの善意をお預かりいたしました。



ピンクリボン運動をサポート

J.POSHオフィシャルサポーターとして、平成19年12月よりATM時間外手数料の一部金額を「J.POSHピンクリボン基金」に寄付しております。

このたび、平成21年12月から平成22年5月末までの6か月分を贈呈いたしました。今回で5回目となります。



ベルナルド・ピュフェ美術館 ワークショップを開催

ピカソやシャガール、デュフィ等近代画家によるポスターや、サヴィニャックをはじめとするポスター作家のポスターを約70点ご紹介するポスター展を4月9日～7月13日まで開催いたしました。

また、現代作家鈴木健司氏を講師に迎え、ワークショップ「オリジナルポスターをつくろう!」を開催いたしました。



主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルが貯まる全く新しいマイレージ&バンキングスタイル

ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

☎ 0120-029-589
(海外から 055-98-02988)

お電話承り時間
9:30～17:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



9人目の億万長者誕生でさらに大好評の宝くじ付き商品をご提供

ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

☎ 0120-86-1689

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～土曜日) (祝日を除く)



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

☎ 0120-005-175

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



ゆうちょ銀行でお申し込みできるスルガ銀行のローンお取引店

ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

☎ 0120-745-600

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

☎ 0120-50-2189

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～土曜日) (祝日を除く)



ローン中心のダイレクトバンキング

ダイレクトワン支店

<http://www.surugabank.co.jp/directone/>

☎ 0120-60-1616

お電話承り時間
9:00～19:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



インターネットを活用した先進の金融サービスをご提供

ダイレクトバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/directbank/>

☎ 0120-708-807

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

☎ 0120-185-285

お電話承り時間
10:00～18:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



ネットライフをもっとアクティブに 各種金融サービスをご提供

ネットバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/netbank/>

☎ 0120-55-4189

お電話承り時間
9:00～17:00 (月～金曜日) (祝日を除く)



(平成22年9月30日現在)

営業店舗網 (127か店) (平成22年9月30日現在)

●静岡県 (78か店)

- 9 E◎ 本店営業部
- 9 E○ 沼津原町支店
- 9 E 徳倉支店
- 9 E○ 沼津駅支店
- 9 E○ 沼津大手町支店
- 5 沼津市役所出張所
- 8 E○ 沼津港支店
- 9 E○ 沼津南支店
- 8 E 沼津静浦支店
- 9 E○ 沼津青野支店
- 9 E 沼津あしたか支店
- 9 E◎ 沼津セントラル支店
- 9 E◎ 三島支店
- 9 E◎ 三島セントラル支店
- 9 E○ 三島西支店
- 9 E◎ 長泉支店
- 8 E ウェルディ長泉出張所
- ANA支店
- OCN支店
- ソネット支店
- ダイレクトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イービジネスダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9 E◎ 清水町支店
- 9 E○ 大場支店
- 9 E○ 伊豆長岡支店
- 9 E◎ 伊豆中央支店
- 8 E○ 修善寺支店
- 8 E○ 中伊豆支店
- 9 E◎ 熱海支店
- 9 E◎ 熱海駅支店
- 9 E◎ 伊東支店
- 9 E○ 伊東駅支店
- 8 E◎ 下田支店
- 8 E○ 松崎支店
- 8 E○ 伊豆稲取支店
- 9 E◎ 御殿場駅支店
- 9 E◎ 御殿場西支店
- 9 E◎ 御殿場東支店
- 8 E◎ 裾野支店
- 9 E○ 小山支店
- 9 E◎ 富士吉原支店
- 9 E 富士市役所前出張所
- 9 E◎ 富士支店
- 9 E○ 富士鷹岡支店
- 8 E◎ 富士宮支店
- 8 E◎ 清水支店
- 9 E 興津支店
- 9 E○ 清水駅支店
- 9 E○ 清水三保支店
- 8 E 清水高橋支店
- 9 E○ 草薙支店
- 9 E◎ 静岡支店
- 9 E◎ 静岡南支店
- 6 ○ 静岡県庁支店
- 8 E○ 伝馬町支店
- 9 E◎ 静岡東支店
- 8 E 静岡上土支店
- 8 E○ 焼津支店
- 9 E○ 岡部支店
- 9 E○ 藤枝駅支店

8 E○ 島田支店

- 9 E○ 榛原支店
- 8 E○ 相良支店
- 10 E○ 金谷支店
- 9 E◎ 掛川支店
- 8 E○ 袋井支店
- 8 E○ 磐田支店
- 8 E 天竜支店
- 9 E◎ 浜松支店
- 8 E 浜松追分支店
- 8 E○ 浜松北支店

●神奈川県 (36か店)

- 8 E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11 E○ 横浜東口支店
- 11 E◎ 横浜日吉支店
- 9 E○ 横浜戸塚支店
- 8 E○ 横浜弥生台支店
- 8 E○ 横浜若葉台支店
- 9 E◎ 横浜磯子支店
- 9 E○ 横浜六ツ川支店
- 9 E◎ 横須賀支店
- 8 E○ 横須賀武山支店
- 9 E◎ 久里浜支店
- 8 E○ 三浦海岸支店
- 8 E◎ 鎌倉支店
- 9 E◎ 藤沢支店
- 8 E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9 E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9 E○ 辻堂支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎支店
- 9 E○ 茅ヶ崎鶴が台支店

8 E 浜見平支店

- 9 E◎ 平塚支店
- 9 E◎ 厚木支店
- 9 E○ 厚木鷹尾支店
- 8 E◎ 相模原支店
- 8 E○ 東林間支店
- 8 E○ 中央林間支店
- 9 E◎ 海老名支店
- 9 E◎ 秦野支店
- 9 E◎ 小田原支店
- 9 E◎ 小田原東支店
- 8 E◎ 松田支店
- 8 E◎ 南足柄支店
- 9 E◎ 箱根支店
- 8 E 湯河原支店

●東京都 (5か店)

- 9 E◎ 東京支店
- 6 E 渋谷支店
- 6 E 新宿支店
- 7 E ミッドタウン支店
- ゆうちょ専用支店

●その他 (8か店)

- 6 札幌支店
- 6 仙台支店
- 6 大宮出張所
- 6 柏出張所
- 6 名古屋支店
- 6 大阪支店
- 6 京都支店
- 6 福岡支店

店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1～1/3および5/3～5/5を除く)

ただし5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は営業)

5はATM平日17時まで取扱店

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

自動取引機(ATM)設置状況

●店舗内設置	113か所	333台
●店舗外設置	26,648か所	28,096台
(うちスルガATM)	160か所	180台)
(うちセブン銀行ATM)	13,683か所	14,948台)
(うちイーネットATM)	10,713か所	10,761台)
(うちタウンネットATM)	536か所	536台)
(うちイオン銀行ATM)	1,556か所	1,671台)
●合計	26,761か所	28,429台
	(平成22年9月30日現在)	

銀行代理店(82か店)

銀行代理業者の商号：株式会社ゆうちょ銀行

銀行代理業務の概要：ゆうちょ銀行直営店82店舗においてスルガ銀行の住宅ローン等個人ローン業務に係る契約締結の媒介

●北海道(1か店)	熊谷店	川崎店	立川店	●愛知県(3か店)	枚方店	●広島県(2か店)
札幌支店	川口店	登戸店	新宿店	名古屋支店	布施店	広島支店
●宮城県(1か店)	所沢店	藤沢店	成城店	中川店	豊中店	福山店
仙台支店	越谷店	橋本店	葛西店	豊橋店	●奈良県(1か店)	●山口県(1か店)
●茨城県(2か店)	浦和店	横須賀店	武蔵野店	●三重県(1か店)	奈良店	山口店
水戸店	上尾店	●東京都(17か店)	●長野県(1か店)	四日市店	●兵庫県(4か店)	●香川県(1か店)
つくば店	●千葉県(5か店)	本店	長野支店	●滋賀県(1か店)	神戸店	高松店
●栃木県(1か店)	船橋店	京橋店	●石川県(1か店)	大津店	姫路店	●愛媛県(1か店)
宇都宮店	習志野店	芝店	金沢支店	●京都府(2か店)	尼崎店	松山支店
●群馬県(2か店)	柏店	浅草店	●岐阜県(1か店)	京都店	宝塚店	●福岡県(3か店)
前橋店	八千代店	蒲田店	岐阜店	伏見店	●和歌山県(1か店)	北九州店
高崎店	若葉店	品川店	●静岡県(2か店)	●大阪府(7か店)	和歌山店	博多店
●埼玉県(8か店)	●神奈川県(9か店)	渋谷店	静岡店	大阪支店	●岡山県(2か店)	久留米店
さいたま支店	横浜店	中野店	浜松店	大阪東店	岡山店	●熊本県(1か店)
川越店	都筑店	豊島店	●静岡県(2か店)	堺店	倉敷店	熊本支店
	青葉台店	赤羽店		吹田店		
	港北店	練馬店				
		光が丘店				

ローンご相談窓口

ドリームプラザ日本橋	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ柏	富士ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	静岡岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大阪	藤枝ハウジングローンセンター
ドリームプラザ京都	浜松ハウジングローンセンター
ドリームプラザ福岡	ダイレクトハウジングローンセンター

資産運用ご相談窓口

ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン小田原
ドリームサロン日本橋	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	清水ファイナンシャルプラザ
ドリームサロン藤沢	

ATMネットワークのご案内

入金も出金もできるATM



ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行のATM



セブン銀行

セブン銀行のATM



E-netマークのコンビニATM



スリーエフ店内に設置されているタウンネットワークサービスのATM

出金ができるATM



全国の提携金融機関
ATM・CD



イオン銀行

イオン銀行のATM

最寄りのATMの情報が検索できます。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/shiten/>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡下さい。


スルガ銀行緊急サポートセンター

☎055-987-8182 24時間365日(有人受付)

同時に最寄りの警察(交番)にもお届け下さい。



詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**

お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター

